



# 福小だより

【目指す子ども像】  
自分を大切に  
いろいろな考えがあることを認める子  
自分で決めることができる子  
決めたことをやりとげる子

学校教育目標「自分や他者を理解し受け入れ、相互協力しながら、問題を建設的に解決できる力の育成」

## 伝統行事が育む豊かな人間性～節分から桃の節句へ 心を澄ませる学び～

校長 長 浦 紀 華

立春を過ぎ、暦の上では春が始まりました。一時期の厳しい寒さが和らぎ、校庭を覆っていた雪も日ごとに溶け始めています。黒い土が顔を出し、湿り気を帯びた風の中に、冬の終わりとし新しい季節の胎動を感じる今日この頃です。

今月始めの全校朝会において、私は子どもたちに「節分」について話をしました。節分とは文字通り「季節を分ける」節目を意味します。古来、季節の変わり目には体調を崩しやすく、予期せぬ災いが入り込みやすいと考えられてきました。それらを「鬼」という形に置き換え、「鬼は外、福は内」と豆をまくことで、邪気を払い、新しい季節の幸せを願ってきたのです。

私は子どもたちに、現代の私たちの生活における「鬼」とは何だろうかと問いかけました。それは、外からやってくる怪物ではなく、自分の心の中にふとした瞬間に姿を現すものではないかという話です。「面倒くさいからサボってしまおう」という怠け心や、「自分さえ良ければいい」という勝手な心。こうした心の「鬼」は、誰の中にも住んでいます。

大切なのは、その存在にいち早く「気付く」ことです。「あ、今、自分の中に鬼が出てきたな」と客観的に自分を見つめることが、成長への第一歩となります。深呼吸をしたり、言葉を選び直したりすることで、その鬼を追い出し、代わりにあいさつや思いやりといった「福」を呼び込もうと伝えました。

さて、来週の3月3日には「桃の節句（ひな祭り）」がやってきます。節分が、自分の内面を見つめ直し、不要なものを削ぎ落とす「動」の行事であるとするならば、桃の節句は、生命の健やかな成長を静かに慈しみ、幸せを願う「静」の行事と言えるでしょう。

桃の節句の起源は、水辺で身を清め、自分に降りかかる災厄を人形に移して流す行事にあります。節分も桃の節句も、根底にあるのは「節目ごとに心をリセットし、清らかな状態で次へ進む」という先人たちの知恵なのです。

厳しい冬を耐え抜き、春の訪れとともに可憐で力強い花を咲かせる桃の姿は、まさに子どもたちが自分の中の「鬼」という葛藤を乗り越え、自分らしく花開こうとする成長のプロセスそのものです。節分で自分を律し、不要なものを追い出したからこそ、その空いた心のスペースに清らかな「福」が宿るのです。

本年度も、残すところ1か月あまりとなりました。6年生は卒業という大きな節目を控え、在校生もそれぞれ進級という新しいステージへ向かう準備をしています。

子どもたちが、節分で自分を見つめ直し、桃の節句で命の尊さを再確認する。こうした伝統行事を通じた学びが、彼らの豊かな人間性を育む一助となることを願っています。溶けゆく雪の下でしっかりと根を張り、一人一人の個性豊かな花が芽吹くよう、職員一同、最後まで温かく支援してまいります。

## Chromebook (クロームブック)・iPad (アイパッド) の使用開始

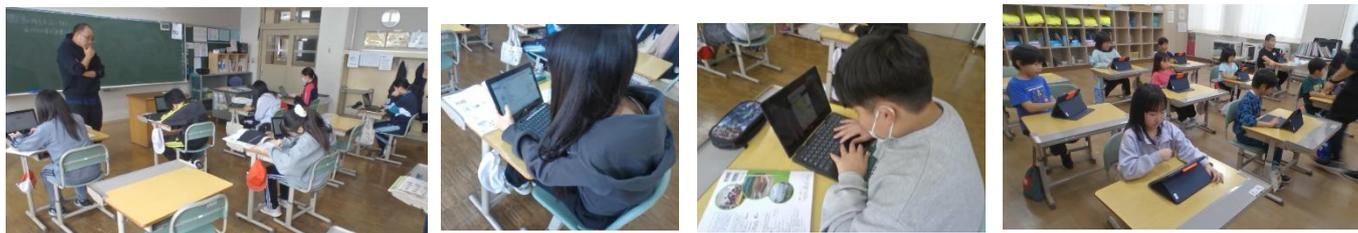
本校では、2月から、1・2年生は新iPad、3～6年生はChromebookの使用を開始しました。急速に発展している情報化社会を生きる子どもたちにとって、ICTを適切に活用する力はますます重要になります。本校でも、日々の学習の中で計画的に活用をしています。

端末は、国語、算数、生活科、総合的な学習の時間等、さまざまな教科で活用しています。自分の考えをまとめて友達と共有したり、資料を提示しながら発表したりと、学びを広げ深めるための有効なツールとなっています。キーボードやタッチペンも付属しており、用途に応じて使い分けられるところも子どもたちに好評です。

また、朝の時間やちょっとした隙間時間を活用して、タイピング練習にも取り組んでいます。継続することで、文字入力の技能が向上します。タイピングが上手になると、教科の学習に活かすことができるので、様々な作業がスムーズに進められるようになります。

なお、この端末は町から貸与されている大切な学習用具であり、クロームブックは中学3年生まで同じものを使用します。長く使う大切な端末ですので、丁寧に扱うことや、ルールを守って使用することについても、繰り返し指導してまいります。ご家庭でも、取り扱いや使用の約束についてお声かけをお願いいたします。

今後も、子どもたちの学びがより充実するよう、ICTの効果的な活用を進めてまいります。



## 6年生を送る会が開かれました

拍手の中、6年生が入場し、会がスタートしました。1年生から5年生までが順番に発表を行いました。どの学年も、これまでお世話になった6年生のために、心をこめて発表していました。

その後は、6年生からの発表がありました。「キセキ」を演奏する堂々とした姿からは、これまで学校を支えてきた自信と誇りが感じられ、在校生にとっても心に残る時間となりました。うれしそうな6年生の表情が、とても印象的でした。

会の最後には全校で写真撮影を行い、思い出の一枚を残しました。卒業まで残りわずかとなりましたが、6年生には一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。



## 心の鬼は退治できたかな

2月3日は節分。今年はいよいよ鬼が登場し、各教室を回りました。突然現れた鬼に、子どもたちは驚きながらも大喜び。教室は笑顔と元気な声に包まれました。

豆の代わりに、新聞紙を丸めた“特製の豆”を使い、「鬼は外！福は内！」と元気よくまきました。節分は、自分の心の中にある鬼を見つめる日でもあります。「なまける心」「あきらめてしまう心」など、それぞれが退治したい“心の鬼”を考えながら豆まきをしました。

さて、自分の中の鬼は退治できたでしょうか。大切なのは、これからの毎日の生活の中で意識し続けることです。自分自身をよりよくしようとする気持ちを大切にしながら、子どもたちの成長を支えてまいります。



## 3月行事予定

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
2	月	全校朝会、保健指導、卒業式全体練習	12	木	学校運営協議会
3	火	移動図書・学級文庫交換、清掃強化週間(～10日)、スクールカウンセラー来校	13	金	大掃除
4	水	職員会議、3年生校外学習	16	月	4時間授業、全校集会
5	木	学習参観・懇談会(1～3年生)	17	火	4時間授業、卒業式前日練習
6	金	学習参観・懇談会(4～6年生)、週末読書、委員会活動報告	18	水	3時間授業、卒業式
9	月	5年生卒業式会場設営	19	木	4時間授業、卒業式後片付け
10	火	4年生卒業式装飾準備	23	月	4時間授業
11	水	卒業式総練習、職員会議	24	火	3時間授業、修了式、離任式、職員会議